

令和5年度 江戸川区立大杉第二小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

<p>学校教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ よく考え すずんで学ぶ子 ○ 思いやりのある子 ○ 明るく 元気な子 「学校大好き、先生大好き、友達大好き」 豊かな心、確かな学力、一人一人が輝く杉の子 	<p>目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「温かい心(敬愛・思いやり・感謝)」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞き、見、話し合い、体験を生かして考える子。互いを尊重し、物や自然を大切にすること。心身ともにたくましく、めあてをもってねばり強くやりとげること。 ○児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかかわりの中で、様々な課題に気付く教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出すことのできる教職員。考えや発想を適時に実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員。
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>	<p><成果>児童一人一人の学習状況を把握したことにより、手立てが明確になり、学力向上に向けて対応することができた。</p> <p><課題>個別最適な学び協働的な学びの実現を目指した指導法について研究し、教員の授業力をさらに高めていく必要がある。</p>		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	<確かな学力の向上> 「誰一人取り残さないための学力向上に向けたアクションプラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	「教員の指導力向上」「基礎学力の保証」「学習習慣の確立」の3つの観点を設定する。 「教員の指導力向上」では、毎回の授業で自分の考えや振り返りを書く時間を確保するなどの取組の実施 ・「基礎学力の保障」では、東京ベーンシールドに取り組み、児童の苦手な分野等を把握、授業等での指導の実施 ・「学習習慣の確立」では、江戸川[satdy weekと校内の家庭学習やイベントの関連、家庭と連携した家庭学習の習慣化	・児童、生徒の学力向上を図るための調査「授業の内容はどのくらい分かりますか」の質問項目が各学年・各教科において肯定的な意見が85%以上 ・2月に実施するベーンシールド診断テストの8割達成率が80%とする。 ・全国学力・学習状況調査の「授業時間以外の勉強時間」の質問項目が1時間以上の児童の割合が80%以上の回答						
	<読書科の更なる充実> ・学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	・週2回の朝読書の実施 ・探究的な学習の計画立案 ・多読賞の設定(1~6年は60冊以上、3~6年の1万ページ) ・ピリオパトルの全校実施	・多読賞は、1~6年は60冊以上、3~6年の1万ページの読書とする。 ・夏季休業期間を活用して第4~6学年の児童が調べ学習コンクールに向けて探究的な学習をすすめ、まとめる。						
	<外国語教育の推進> ・授業力の向上とALTの効果的な活用	・外国語研修の実施、年間を通したALTの計画的な活用	・年間の外国語授業、中学年35回、高学年70回						
体力の向上	<体力の向上> ・体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	朝マラソン週4回実施、運動遊び年間計画の実施	・休み時間の外遊び、90%の児童が参加 ・長なわ跳び(8の字跳び)への全校児童の参加						
共生社会の実現に向けた教育の推進	<共生社会の実現に向けた教育の推進> ・エンカレッジルームを活用している児童への個に応じた指導の充実 ・副籍交流及び共同学習の充実	・特別支援教室個別支援評価シートを活用した情報共有及び指導・支援の充実 ・鹿本学園との副籍交流	・学習と行動のチェックリストの実施把握項目である「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「雑論」「姿勢・粗大運動」「微細運動」「注意」「行動」「感情のコントロール」「社会性」を卒業時に各項目達成度B80~50%以上を目指す。 ・交流の仕方は適宜検討しながら年間1回以上の交流実施						
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成> ・全教員による情報共有 ・不登校対策の充実 ・教育相談の強化 ・hyspaer-QUの活用	・特別支援全体会の学期ごと年間3回の実施 ・連絡会毎週(木)による情報共有 ・hyspaer-QUを活用した学級の実態把握	・教室外での個別対応児童の復帰を目指す。(別室対応児童前年度比50%) ・連絡会での各学年年間5回以上の報告						
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・年間3回の学校評議委員会における情報共有及び教育活動の改善・充実	最終評価でAを80%以上とする。						
	<学校と地域との連携> ・見守り隊及びふれあいWDを通じた交流活動の実施	・見守り隊の実施 ・ふれあいWDの実施	・見守り隊の年間27回の実施 ・ふれあいWDの年間10回の実施						
特色ある教育の展開	<学校における働き方改革プラン> ・教材研究及び会議の精選 ・区及び町会主催の行事への参加	・第3学年から第6学年まで一部教科担任制の実施 ・会議の精選及びc4thの適切な活用 ・印刷物等の作成時間の軽減 ・中央地域まつり、五北町会盆踊り等、行事への参加	・第3学年以上の一部教科担任制の実施状況 ・中央地域まつり、五北町会盆踊り等、行事への参加状況						
	<SDGs教育の推進> ・各教科においてSDGsに関わる取組の紹介	・SDGs教育の推進 ・SDGsの取り組みと教科とを関連付ける指導	・SDGsに関連する賞の受賞(令和4年度 SDGs環境未来賞受賞)						